深まる秋 友好深める

―米サラトガ市(姉妹都市)訪問団一行―

市民会館で行われた歓迎式であいさつする民秋市長

小学校視察やお茶・生花体験

本市の姉妹都市・米国サラトガ市友好訪日団一行が、10月31日から11月9日まで、市内の公共施設の見学や日本料理の実習など、10日間、両市の交流を深めました。

サラトガ市の友好訪問団は、昭和59年の姉妹都市盟約締結後3回目の来日で、今回は70人の方が、向日市を訪問されました。

11月1日市民会館で歓迎式が行われ、民秋市長が「両市の友好は着実に歩んでいる。この友好交流は世界平和に通ずるものである」と歓迎しました。

このあと、竹林公園や市内の公共施設などを視察しました。

2日には寺戸公民館で、日本文化にふれようと、お茶、お花にチャレンジ。

4日には、向陽小学校を訪れ、授業参観のあと、その日の給食を試食し、6日は座禅や食生活改善推進協議会の皆さんの指導で、巻きずしや茶わん蒸しに挑戦し、市民との楽しい交流のひとときを過ごしました。

またこの間、今後の交流事業計画の会合がもたれ、両市の相互訪問と毎年夏に行っている交換学生交流の一層の推進を確認しました。

生花に挑戦する訪問団一行

文化資料館特別展開催中

竹の文化

11月27日まで

向日市文化資料館では、11月27日まで、特別展「竹の文化」を開催しています。

昔から日本人とつながりが深い竹を通して、生活、文化、歴史を考える内容で展示しています。

世界、日本全国、乙訓の竹の民具、工芸品、竹伐りの道具、絵巻物、古文書、茶道具、茶入れ等150余点を集めています。

また、エジソンの竹のフィラメント電球は、毎日曜日午後2時から3時まで、実際に点灯しています。

■映画会「京の竹」京都府制作　11月20日(日)午前10時30分～11時30分、午後2時～3時の2回上映

■展示解説　11月20日(日)午後3時～3時40分

■スライド上映■「乙訓のたけのこ」他　随時上映

■お問い合わせ　文化資料館研修室　☎931―1182

茶道具の展示
―文化資料館研修室―

投票所変更のお知らせ

選挙管理委員会では、このほど行ったアンケート調査を基に、投票区および投票所の見直しを行い、下表のように一部投票区域を増設・変更しました。

なお、旧投票所近隣の有権者の方には、新投票所まで少し遠くなりますが、ご協力をよろしくお願いします。

対象地区名	新投票所名
寺戸町 乾垣内・梅ノ木・北前田・北野・北垣内・小倉・里垣内 笹屋・渋川・新田・寺山・中村垣内・中垣内・西垣内・西田中瀬 二枚田・初田・東田中瀬・向畑	第2投票所 寺戸公民館
寺戸町 天狗塚(除、向日台団地)・中ノ段・西ノ段・東ノ段 鶏冠井町 荒内(行政区が向日区である地区のみ)	第3投票所 向日コミュニティセンター
鶏冠井町 沢ノ西・番田・堀ノ内	第6投票所 老人福祉センター
寺戸町 飛龍	第10投票所 寺戸コミュニティセンター
物集女町 燈篭前	第11投票所 第4向陽小学校
物集女町 池ノ裏・ヲサン田・北ノ口・クヅ子・五ノ坪・坂本 立田・田原・吉田 寺戸町 八反田	第13投票所 西ノ岡中学校

(注) 上記に記載していない地区については、変更ありません。

フォトニュース

■連続無火災300日達成■向日市消防本部では10月27日「300日」の新記録達成。記録継続を図る決意新たに。

■シ尿処理施設起工式■乙訓環境衛生組合に放流水質の向上をはかる高度処理施設を昭和65年完成に向け着工。

■向日市菊花展■立菊、懸がい菊など96点が出品。市長賞には山本重一さん市会議長賞には永井太一さんに。

■向日市障害者の日街頭啓発■障害者問題への理解を深めようと、ニチイ前でキャンペーンを展開。

新着図書のご案内

向日市立図書館

一般成人向け図書

▷素敵に生きる女の心づかい　下重暁子著　海竜社

▷「ほんとうの強さ」が身につく本　櫻木健古著　三笠書房
―老子に学ぶ人生を最高に生きる知恵―

▷北京歴史散歩　竹中憲一著　徳間書店

▷子どもの遊びと大人の役割　佐野豪著　泰流社
―たくましく感性豊かに育てるために―

▷お話ひとこと　岡部伊都子著　冬樹社

▷日本を創る　技術を創る　森谷正規著　日刊工業新聞社

▷いい伝えと化学　古橋昭子著　裳華房

▷不滅の名曲はCDで　志鳥栄八郎著　朝日新聞社
―あなたのベストコレクションのために―

▷菜の花郵便局　つかこうへい著　岩波書店
―大人と子供のための童話―

▷老いは怖くない　三浦朱門著　海竜社

▷北京の父　老舎　舒乙著　作品社

児童向け図書

▷星を見つめた人びと　前川光著　太平出版社

▷かみなりむすめ　斉藤隆介作　滝平二郎絵　岩崎書店

▷しろくまくん、ふねにのる
ハンス・ド・ビア作　矢川澄子訳　童話屋

■お問い合わせ■
向日市立図書館　☎931―1181

犬のフンの始末は飼い主の責任

■犬による危害、被害を防ぐため、散歩中はもちろん、自宅でも必ずつないで飼ってください。

■犬のフンの始末は必ず飼い主で行ってください。

■犬を飼う時は最後まで、その犬の面倒を目る覚悟で飼い、安易に犬を捨てないでください。